



Vol.40

令和2年6月23日

討議資料

浜松市議会議員

ひらま通信



令和2年 第2回浜松市議会定例会報告

暑さが日ごとに増す初夏を迎えました。未だに新型コロナウイルス感染症の影響は続いており市民生活に不安を与えていますが、浜松市内の感染者は6月17日現在7人と、政令指定都市の中において感染者数は少ない状況です。浜松市では感染拡大に備えた医療体制の強化や、三密防止対策などの感染予防を講じた上で経済活動や学校などを順次再開しています。今後も新しい生活様式のもと、日常生活を取り戻していくために様々な対応を図っていきます。

さて、浜松市議会では5月8日に臨時会を開催し、特別定額給付金の支給に要する経費追加の補正予算案、市長の給料月額および期末手当の額を減額する条例案を審議しました。5月20日からの定例会においては新型コロナウイルス感染症関連の補正予算や条例などについて審議しました。補正予算では所属会派「市民クラブ」が市民の声をまとめ市長に緊急提言した内容も事業化されました。今後も引き続き皆さまの声を聴いて対策につなげていきます。たすけあいの精神により国民が一丸となり、この難局を乗り越えることで終息がみえてくると思います。今回の対応により私たちの生活は大きく変わりました。今まで通りにできなくなったことも多くありますが、その反面で新たな発見もありました。ピンチをチャンスに変える想いで、様々な活動に取り組んでいきます。



新型コロナウイルス感染症に対する緊急提言(抜粋)

『医療体制』

- ・病床数の確保、軽症者隔離施設、人工呼吸器、ECMOの追加とオペレーター手配や医療従事者へのマスクなど備品の十分な配備と感染検査体制の拡充

『自粛要請の影響対応』

- ・経済的に困窮している方へ独自支援の実施
- ・個人、事業者への経済的支援や、職を失ってしまった方へ感染症関連業務(除菌作業など)の臨時職員として採用

『小中学校、市立高校の学校休業対応』

- ・学習遅れを挽回する施策の早期提示
- ・子どもたちのメンタルヘルス対策と自習学習対象学年の拡大
- ・幼稚園、保育園、放課後児童会の感染予防対策強化

『休業要請解除に伴う事業者への支援』

- ・事業再開にあたり感染防止対策ができるように消毒液やマスク、フェイスガード、間仕切り設備などの販売斡旋や購入補助

『ふるさと納税の寄付金活用による財源確保』

- ・政策メニューに新型コロナウイルス感染症対策を加え、過去に寄付してくれた方への案内を強化し財源確保を推進

各項目に対する浜松市の回答・対応

- ・感染者の増加を想定し各医療機関の専門家との連携を強化
- ・購入、寄付されたマスクなどは医療機関へ優先的に配布
- ・PCR検査機を6月中旬に2台導入し80件/日の検査を実施
- ・ドライブスルー、ウォークスルー方式による移動式PCR検査センター(トレーラーハウス)により1日100件程度まで検査可能

- ・生活保護が必要とされる方を確実に生活自立支援センター「つながり」の申請窓口につなぎ、速やかに保護決定する
- ・雇止めや内定取り消しなどにより職を失った市民を臨時職員として雇い、新型コロナウイルス感染症関連業務を実施
- ・アルバイトなどの収入減により学費を工面できないなど、経済的な影響を受けている大学生などをサポートするため、会計年度雇用職員(事務支援員)を募集

- ・授業日数確保のため効果的な教育方法を指導する
- ・段階的に登校日を増やし、きめ細かに児童生徒の心身の健康状態を把握する
- ・3密状態を回避し消毒液については国の優先供給スキームなどを活用し、必要量を調達

- ・3密対策事業者支援として、つい立やフェイスシールド購入、レジ前ビニールシートの設置、換気扇の増設、飲食スペースの改修を実施

- ・新型コロナウイルス感染症対策基金の設置とあわせてふるさと納税の政策メニューに新型コロナウイルス感染症対策を追加



4月16日第一回提言



5月8日第二回提言

詳細内容はこちらから確認ください



5月補正予算と主要事業概要(抜粋)

■新型コロナウイルス感染症対策及び支援(19億4611万5千円)

- ・児童手当支給事業⇒9億9637万4千円。子育て世帯への臨時特別給付金の支給(※特例給付の方は対象外)
- ・休業協力金支給事業⇒7億2千万円
- ・感染症対策事業⇒1億9724万8千円
- ・障がい児通所支援事業⇒3249万3千円



■特別定額給付金支給事業(810億5千万円)

- ・浜松市独自に「早期特別申請」を実施
- ・人件費⇒1千500万円(支給事務に要する人件費)
- ・事務費⇒9億3500万円
- ・給付費⇒801億円:対象者80万1千人



■PayPayと連携した中小店舗支援事業(補正額3億円)

『がんばれ浜松! 対象のお店で最大30%戻ってくるキャンペーン』

PayPay加盟店において、PayPayで支払うと還元が受けられます(※市内に10店舗以上、全国展開するチェーン店などの大規模店舗は対象外)



飲食



サービス



小売

⑤付上上限額⑤

1回の支払い額の30%還元!

ただし、支払い1回あたりの上限付与は1,000円相当
期間中の合計上限付与は5,000円相当

実施期間:令和2年7月1日~7月31日まで



■小中学校学習者用タブレット整備事業(補正額14億5195万7千円)

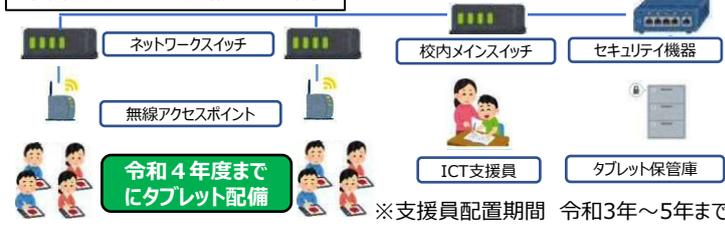
国が示す「GIGAスクール構想」における教育の情報化に向け、児童生徒への学習用タブレット1人1台配備によるICT環境の整備を行い学習活動の充実を図る(主要事業P15参照)

※GIGAスクール構想とは義務教育を受ける児童生徒に1人1台高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画

5月補正予算と主要事業内容はここから確認ください



学習者用タブレット整備イメージ図



■オンライン物産展開催事業(補正額1億円)

「楽天市場」に特設ページを開設し地場産品の販売促進を図る

- ・第1回目:6月25日~7月29日
- ・第2回目:9月1日~10月6日
- ・第3回目:未定(冬頃予定)

⑤物産展で利用可能な「割引クーポン」を発行⑤

- ◆3,000円以上の利用で使える500円オフクーポン
- ◆5,000円以上の利用で使える1,000円オフクーポン
- ◆10,000円以上の利用で使える2,000円オフクーポン



官民協同による新型コロナウイルス感染症対策の紹介

本田技研工業(株)による患者搬送用車両の無償貸与・圧力差隔離壁取り付け・フェイスシールドの無償提供

- ・社用車(オデッセイ)に隔離壁を取り付け静岡県下田市医療機関へ貸与
- ・浜松市公用車(ステップワゴン)へ隔離壁を取り付け

- ・県内の感染症指定医療機関などへ3200セットを分割し提供



- 提供先 (順不同)
- ・磐田市立総合病院
 - ・中東遠総合医療センター
 - ・市立島田市民病院
 - ・浜松市国民健康保険佐久間病院
 - ・社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷三方原病院
 - ・独立行政法人国立病院機構 天竜病院
 - ・菊川市立総合病院 など

旧はまホールにて移動式PCR検査センター内覧会が開催

ドライブスルー検査も対応でき、導入後は100件/日の検査が可能となります!
市民クラブが要望した検査体制の拡充が図られました!!



(株)旭エンジニアリングより無償貸与されたトレーラーハウスでの検査風景



トレーラーハウスへ電気を供給する浜松市公用車(ホンダクラリティ)



隔離壁を取り付けた浜松市公用車(ステップワゴン)にてドライブスルーによるPCR検査を実演



【編集後記】

ひらま通信vol.40は新型コロナウイルスに対する緊急提言、5月補正予算、主要事業についてお届けしました。今後も皆さまの声をいただきながら、親しみやすく、活動内容が分かりやすい紙面づくりに邁進します。次回の「ひらま通信」もご期待ください。

全国本田労働組合連合会 静岡地方協議会

議長 高橋 淳一郎

〒433-8501 浜松市中区葵東1-13-1
(TEL) 053-436-5924

SNSで情報を発信しています

